


中原 義人

なかはら よしと / Nakahara Yoshito

所属・役職	裾野市 総務部 デジタル統括課 主幹 特定非営利活動法人 Code for SUSONO 理事 デジタル庁窓口 BPR アドバイザー	
活動拠点	全国	
略歴	2003年 裾野市役所入庁、市民安全、広報公聴、産業支援事務等／情報システム部門については通算10年程度経験 2013年 静岡県内の基礎自治体で初めてオープンデータの公開に取り組む 2018年 裾野市官民データ活用推進計画初版策定 2022年 庁内ネットワークインフラ無線化設計調達 2023年 裾野市DX方針初版策定／窓口BPRにつき市民課兼務 2024年 デジタル庁窓口BPRアドバイザー	
こんなことを支援できます	① <u>窓口改革 (BPR)</u> ・ ライフイベントのワンストップサービスの整理 ・ おくやみワンストップの導入支援 ・ 業務改革の必要性整理、推進体制構築、プロジェクト推進の伴走支援 ② <u>データ活用／生成AI活用</u> ・ 自治体オープンデータの推進・活用支援、EBPMの取組み助言 ・ 内部システムの処理記録の活用 ・ 住民アンケートの活用 ・ 生成AIの組織内実装、業務活用に向けた具体的な提案	
自治体向けメッセージ	住民視点のサービスデザインを起点に、窓口改革やデータ活用の現場での経験を元にした、「働き続けたい職場」の実現をめざした取り組みを自組織で取り組んでいます。プロセスを見直した上で、デジタルツールや生成AIを活用したデジタルを前提とした、手順の効率化や負荷軽減の視点で業務改善を進める伴走支援をさせていただきます。	

＜主な専門分野＞※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

他

その他

EB

EBPM

生成

生成AI活用

<地域情報化に関する実績>

2024年 総務省「令和5年度自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト」

<https://www.soumu.go.jp/iken/fymodelr5.html> <https://www.soumu.go.jp/iken/fymodelr5-9.html>

2024年 J-LIS 市町村職員による情報化に関する研究会

令和6年度「地方公共団体におけるデータ利活用に関する研究」

<https://www.j-lis.go.jp/rdd/shichosonkenkyukai.html>

◆個人の取り組み

特定非営利活動法人 Code for SUSONO 理事

デジタルアーカイブ(裾野市史、広報紙 PDF オープンデータ化)

◆取り組み等の掲載事例

自治体におけるデジタル人材の確保・育成にかかる冊子(APPLIC)

<https://www.applic.or.jp/post-57229/>

TKC 自治体向け機関紙「新風(かぜ)」2023年4月号

<https://www.tkc.jp/lg/kaze/202304tokusyu/>

日本加除出版「住民行政の窓」2026年1月号(発刊予定)

<https://www.kajo.co.jp/c/magazine/002>

◆支援・登壇事例等

2024年～ デジタル庁窓口 BPR アドバイザー

・14自治体支援

2025年 総務省自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト等に関する説明対応

・長崎県(2025年10月)

・大分県別府市(2025年10月)

自治体総合フェア 2025 主催者セミナー「窓口 DX のさらなる進化」(セミナー登壇)

2025年7月16日

時事通信社 iJAMP【DXオピニオン】データをモチベーションに(メディア掲載)

2024年6月7日

時事通信社 iJAMP 自治体実務セミナー「自治体 DX サミット Vol2」

生成 AI の活用で持続性を高める裾野市の業務改革(オンラインセミナー登壇)

2025年6月24日